

日本における「法学」の現状と可能性 —法実務・実定法学・基礎法学—



日時: 2011年7月9日(土)
13:00~18:00

会場: 早稲田大学
26号館大隈記念タワー
(地下)多目的ホール

主催:

・日本学術会議法学委員会
・基礎法学系学会連合 (日本法
社会学会、日本法哲学会、比
較法学会、法制史学会、比較
家族史学会、民主主義科学者
協会法律部会)

共催:

・早稲田大学GCOE「成熟市民
社会型企業法制の創造」

連絡先: 日本学術会議事務局

・第1部担当 齋藤

TEL 03-3403-5706

Email: s251@scj.go.jp

開会挨拶: 早稲田大学GCOE「成熟市民社会型企業法制の創造」拠点
代表

企画趣旨説明・司会: 榎澤 能生(早稲田大学法学学術院教授・日本学
術会議連携会員)

報 告

岩谷 十郎(慶應義塾大学法学部教授)

「始まりの法律学—実務・立法・解釈」

奥山 恭子(横浜国立大学国際社会科学部教授)

「実定法と司法行政—民事法解釈に及ぼす戸籍実務の影響力—」

岡田 正則(早稲田大学法務研究科教授)

「公法学と法実務・基礎法学」

馬場 健一(神戸大学大学院法学研究科教授)

「法実務への寄与のための法学の課題—裁判官報酬減額問題と情報
公開訴訟を素材に—」

岡 孝 (学習院大学法学部教授)

「民事裁判例における時代思潮の影響(仮)」

笹倉 秀夫(早稲田大学法学学術院教授)

「法解釈学における理論構築と基礎法学」

総合討論

司会:

嶋津 格(千葉大学専門法務研究科教授・日本学術会議連携会員)

新田 一郎(東京大学法学政治学研究科教授)

閉会挨拶: 広渡清吾(専修大学法学部教授・日本学術会議副会長)